

がん登録部会 活動状況

1. 第1回新潟県がん登録部会
 - ・書面にて開催（アンケートにて希望多数） 資料1
 - ・議事録 資料2
 - ・がん登録部会会員名簿 資料3

2. がん拠点病院 登録数（2019年） 資料4

3. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会
 - ①5月31日 Web会議にて開催。 資料5
 - ・生存率閲覧システムについて 資料6 ①
 - 「がん情報サービス」ホームページにて公開（2021年4月27日）
 - がんの種類・性別・年齢・手術の有無といった条件別に3、5年生存率を
検索し比較することが可能
 - ・院内がん登録カバー率の施設別公表について
 - 「がん情報サービス」ホームページにて公開（2021年8月26日）
 - 都道府県別罹患数に占める院内がん登録全国集計参加病院登録割合：診断時
新潟県 69.0%（上皮内がん除く）、70.2%（上皮内がん含）
 - ②院内がん登録公表内容
 - ・院内がん登録2019年全国集計報告書公開（2021年4月27日） 資料6 ②
 - ・2007・08年10年生存率、2012・2012-13年5年生存率、2014・2015年3年生存
率集計公表（2021年4月27日）
 - ・院内がん登録2012-2013年5年生存率集計 資料7
 - 都道府県別・施設別集計値へのご意見を反映した報告書公開（2021年7月15日）
 - 「新潟県のコメント（部会員から意見募集）」
 - 「がん全体での発見経緯で「がん検診」、「健康診断・人間ドック」等の検診発見
症例は比較的高値であるにも関わらず、乳がんにおいては、60歳未満の罹患率
が55%と高い割に、検診での発見症例割合が乳がん全体で3割となっており、
現役世代への検診受診を奨励する必要があると考える。」

4. その他
 - ・県内新型コロナウイルス感染症のがん登録における影響調査結果 資料8
（2019年登録数と2020年登録数の比較）

令和3年度 新潟県がん登録部会 書面審議資料

1、令和3年度新潟県がん登録部会 部会員名簿・・・添付資料1

今年度より地域がん診療連携拠点病院として、魚沼基幹病院が新規指定となりました。名簿に誤りがないかをご確認ください。

2、2019年新潟県拠点、準拠点病院登録数・・・添付資料2

3、令和3年度 第1回がん登録部会審議資料より

以下の URL から議事要旨ならびに当日の資料をご確認ください。

https://gan.joho.jp/med_pro/liaison_council/cancer_registration/20210531/index.html

※「院内がん登録 がん登録部会」で検索してください

※今年度部会で、第二十条にかかる予後情報の取扱いが重要事項として取り上げられました。特に取得した予後情報については、既知のとおり、院内がん登録にのみ利用することはできませんが、カルテや他の DB への転記は許可されておりません。また、取得された予後情報も保管期限がありますので、ご注意ください。2016年、2017年症例の3年予後については、2022年早々(今年度中)にアナウンスがあらうかと思えます。予後情報取得については、今後の法律改正の動向を注視してください。関連情報として、「厚生科学審議会 がん登録部会」での資料もご覧ください。

4、新型コロナウイルスの影響調査・・・添付資料3

日本対がん協会のアンケートにヒントを得て、実務者による2019年、2020年の症例比較を行いました。その結果を添付しましたので、ご覧いただき、各施設における新型コロナウイルスの影響についての一考としてご活用いただければ幸いです。

5、その他

今年度の初級、中級認定試験、更新試験は昨年同様、CBT形式で実施。各種研修も昨年同様にe-learningで開催。今後も新型コロナウイルスの影響で非対面での研修、試験が続くと思われます。登録実務に関する疑義問い合わせは、県内の実務者同士または、国立がん研究センターの SNS などを利用してください。なお、県内実務者同士の回答はオフィシャルなものではありませんので、ご注意ください。また、登録支援ソフト Hos-CanR に関しては、SNS でなく、Hos-CanR ポータルサイトに質問投稿をしてください。

2012年2013年5年生存率報告書が公表されましたが、施設コメントが掲載されていない施設がありました。次回からは何かしらのコメントを出していただけますよう、お願いいたします。

令和3年度新潟県がん登録部会については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、昨年度同様、メールによる資料配信での書面審議となった。

1. 令和3年度部会員名簿について

今年度より、魚沼基幹病院が地域がん診療連携拠点病院に新規指定となり、県拠点、拠点、準拠点併せて15施設となった。(含：新潟労災)

2. 2019年症例集計結果について

従来通り、各施設より集計し、集計結果を配布済。今年度より、魚沼基幹病院が地域がん診療連携拠点病院の指定を受けたので、同院の2019年症例も追加集計。

3. 令和3年度全国がん登録部会について

令和3年5月31日(月)にWEB会議として開催された。審議事項、プログラム並びに当日資料、議事要旨についてはがん情報サービスHP内に掲載されている通り。(詳細資料は支援HPにログイン後、閲覧可能)

○部会員からの意見

- ・がん登録法第二十条に則って取得した予後情報は、法律で定められているように5年後にデータを削除する予定。今後の法律改正に期待したい。
- ・予後情報に関しては情報の管理・期間・方法等制限の問題があるが、当院独自の予後情報作業の負担を少しでも減らせるよう活用できることを期待している。

4. 新型コロナウイルス感染症影響調査について

○部会員からの意見

- ・新型コロナウイルス感染症の影響について、他施設の状況を知ることができて興味深かった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で2020年に大きな変化はなかったものの、2021年に診療制限があったことで、どのように変化したのかを今後の課題としたい。
- ・2020年より、今年(2021年)の方が、よりステージの進行した症例が多い気がするので、症例がまとまったら検証してもらいたい。
- ・がん登録情報を使った分析や比較はやってみると新型コロナウイルスの影響は施設により違う面があり興味深い結果となっていると感じた。新型コロナウイルスの影響は、検診受診率の低下にもつながっていたのだと思った。

5. その他

○部会員からの意見

- ・多方面で活用したいと思う反面、実務に追われ分析等に割く時間がなく、活用できる分析方法がよくわからない等の個人的な問題点がある。

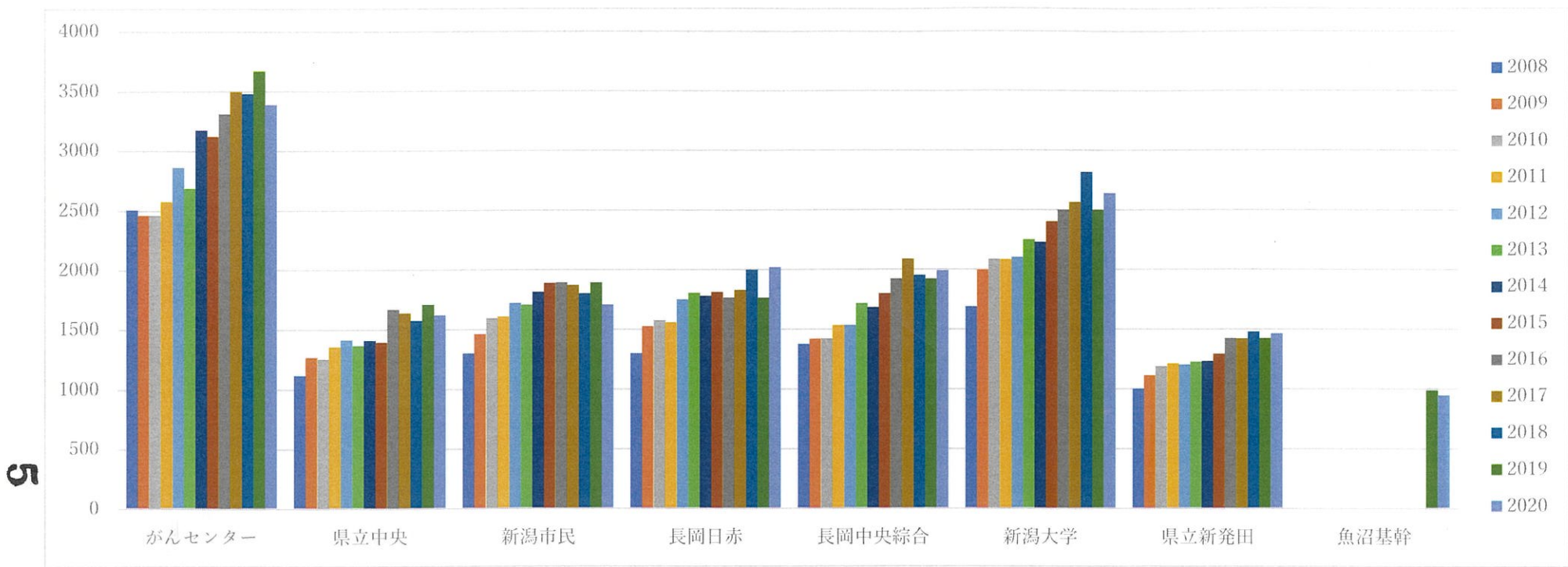
以上をもって、令和3年度がん登録部会議事録とする。

令和3年度 新潟県がん診療連携協議会 がん登録部会員一覧表

部 会 長	病院名	新潟県立がんセンター新潟病院
	所 属	消化器外科
	職 名	臨床部長
	氏 名	中川 悟

病院名	所属・職名	氏 名
新潟県立がんセンター新潟病院	皮膚科 副院長	竹之内 辰也
	消化器外科 臨床部長	中川 悟
	内科 情報調査部長	塩路 和彦
	病歴室 委託職員	関根 知香
	病歴室 委託職員	石川 千恵
新潟大学医歯学総合病院	がん登録室 室長	吉原 弘祐
	がん登録室 がん登録員	伊藤 圭子
	がん登録室 がん登録員	佐藤 宏美
	がん登録室 がん登録員	大島 陽子
	がん登録室 がん登録員	寺谷 葉子
新潟市民病院	がん診療支援室 がん診療支援室長	伊藤 和彦
	がん情報管理室 がん情報管理室長	高橋 雅代
	がん情報管理室 係長	吉田 信也
	がん情報管理室 主査	揖斐 多恵子
	がん情報管理室 副主査	高畑 莉奈
	がん情報管理室 副主査	豊岡 真奈美
新潟県立新発田病院	外科部長	塚原 明弘
	病歴室 (委託職員)	中村 亜耶
	病歴室 (委託職員)	唐橋 絵理奈
長岡赤十字病院	呼吸器外科 部長	篠原 博彦
	病歴管理課 課長	渡辺 純雄
	病歴管理課 主任	小池 健
長岡中央総合病院	消化器外科 副院長	河内 保之
	消化器内科 部長	佐藤 明人
	医療支援課診療情報管理室 主任	矢引 智子
	医療支援課診療情報管理室 事務員	河内 彩美
新潟県立中央病院	病理診断科 部長	酒井 剛
	経営課医事部門病歴室 診療情報管理士	永井 廉
	経営課医事部門病歴室 診療情報管理士	丸山 裕加
魚沼基幹病院	消化器外科・一般外科 部長	小杉 伸一
	経営企画課医事係	小林 ひとみ
	委託職員	森下 遙
佐渡総合病院	病歴管理室 事務員	菊池 玲子
	病歴管理室 事務員	佐久間 祥
済生会新潟病院	医療情報センター センター長	車田 茂徳
	TQMセンター 診療支援室長	木村 雄介
	医療情報センター 病歴室係長	川端 沙織
	医療情報センター 病歴室主任	金澤 雅子
西新潟中央病院	病歴管理室 診療情報管理士	遠藤 吉志子
	病歴管理室 診療情報管理士	渡部 伸行
立川総合病院	外科主任医長	蛭川 浩史
	診療情報管理室 診療情報管理士	今井 悠子
	診療情報管理室 診療情報管理士	成田 真美
柏崎総合医療センター	病歴室 診療情報管理士	岩下 弘子
	病歴室 診療情報管理士	山崎 まどか
	病歴室 診療情報管理士	高桑 千佳
上越総合病院	診療情報管理室 事務員	田村 美和子
	診療情報管理室 事務員	今井 歩美
新潟労災病院	医事課 診療情報管理士	一ノ瀬 麻衣
オブザーバー	新潟県がん登録室	内藤 みち子

資料4 2008-2020 県内拠点病院がん登録数



	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
がんセンター	2507	2459	2464	2573	2861	2686	3175	3120	3312	3494	3479	3668	3387
県立中央	1115	1268	1257	1356	1413	1367	1410	1394	1669	1638	1575	1710	1622
新潟市民	1301	1462	1594	1610	1722	1707	1815	1889	1892	1871	1803	1892	1708
長岡日赤	1301	1527	1576	1560	1753	1807	1782	1812	1765	1830	1999	1765	2021
長岡中央総合	1377	1422	1423	1536	1535	1719	1685	1801	1922	2089	1954	1922	1994
新潟大学	1690	2000	2087	2087	2105	2252	2232	2403	2499	2564	2820	2499	2640
県立新発田	1001	1116	1189	1214	1203	1227	1232	1293	1425	1423	1479	1425	1465
魚沼基幹												987	946

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会プログラム

日時 2021年5月31日(月) 13:00 ~ 15:00

(WEB開場 12:30~)

会場 国立がん研究センター (WEB開催)

プログラム

0. 資料報告事項 (資料のみ・事前配布)

① 院内がん登録関連本年の予定 (資料1)

- 予後調査支援事業、院内がん登録生存率・全国集計データ収集、QI研究の日程
- 院内がん登録実務者研修・認定試験等の形式と日程について

1. 挨拶	13:00-13:05
2. Web報告	
① 全国がん登録の動き (資料3)	13:05-13:20
② 院内がん登録全国集計データの活用について (資料4)	13:20-13:35
③ 生存率閲覧システムについて (追加資料1)	13:35-13:40
④ 院内がん登録活用にむけてのアンケートご協力をお願い (追加資料2)	13:40-13:50
3. 議事	
院内がん登録カバー率の施設別公表について (資料2・当日追加あり)	13:50-14:20
4. その他・連絡	
・全般に対して意見・質問	14:20-

資料 (事前配布)

1. 院内がん登録実務者研修・認定試験について
2. 施設のがん患者カバー率集計 (1. スライド (追加あり)、2. サンプル)
3. 全国がん登録の動き (スライド)
4. 院内がん登録全国集計データの活用について (1. スライド、2. 原則案)

参考資料

1. 前回議事要旨 (2020年)

当日追加資料:

1. 生存率結果閲覧システムについて (報告③関連)
2. アンケートのお願い (報告④関連)

がん統計

主な統計情報

がん種別統計

部位を選択してください

- 最新がん統計
- 年次推移
- がん統計予測
- 都道府県別75歳未満年齢調整死亡率
- 小児・AYA世代のがん罹患
- がん検診
- 喫煙率

データセンター

- 集計表ダウンロード
- グラフデータベース
- 地理情報システム
- コホート生存率表
- 院内がん登録全国集計結果閲覧システム
- 院内がん登録生存率集計結果閲覧システム

院内がん登録生存率集計結果閲覧システム

検索条件

※院内がん登録生存率集計結果閲覧システムについて(PDF:140KB)

はじめに「がんの種類」と「診断年/生存率」を選んで結果表示ボタンを押して下さい。性別や年齢等別に詳しく生存率を調べたい場合は、詳細設定を開いて選択して下さい。

がんの種類 ※上皮内がんを除く

診断年と生存率

▼ 詳細条件を開く

表示されるグラフ数：4本

結果表示

①

病名から探す | がんの治療と生活 | 制度やサービスを知る | がんの予防・検診 | 資料室

HOME > 資料室 > 報告書 > 院内がん登録関連 > 院内がん登録全国集計

院内がん登録全国集計

全国のがん診療連携拠点病院等において、1) 専門的ながん医療を提供する医療機関における各がん種、進行度、その治療の分布を把握し、国や都道府県のがん対策に役立てる、2) 各施設が全国と比較した自施設のがん診療状況を把握し、がん診療の方向性等を検討する、3) 院内がん登録情報等を適切に公表することにより、がん患者さん及びご家族等の医療機関の選択等に資することを目的に、その基礎資料として院内がん登録のデータを集計した報告書です。2011年診断例からは、都道府県から推薦された施設(以下、都道府県推薦病院)、2017年診断例からは本集計に任意で参加を希望された施設からもデータの提供をいただき、集計を行っています。

病名をキーワードで検索

部位・臓器から探す

50音順から探す

4. 全国集計 報告書

	報告書 (都道府県別含)	資料 (カバー率)	施設別集計表 (付表1-6、付表7)			修正履歴
			拠点病院(成人)	県推薦病院	任意参加病院	
2019年	7,536KB	-	410KB	400KB	248KB	257KB
2018年	3,238KB	3,439KB NEW	32,717KB	20,798KB	5,677KB	150KB
2017年	5,268KB	861KB	134,354KB	92,054KB	31,105KB	183KB
2016年	7,259KB	-	113,310KB	126,218KB	-	176KB

都道府県別、施設別集計結果は、下記から検索ができます。

院内がん登録全国集計結果閲覧システム(0年)

※上記をクリックしてください。

*病院間の優劣と誤認するような利用の仕方は控えてください。

②

資料 b

院内がん登録生存率集計

本集計は、全国のがん診療連携拠点病院において、診断から3年、5年、10年を経過した時の実測生存率と相対生存率を集計したものです。

院内がん登録生存率集計

院内がん登録5年生存率集計結果(2012-13年診断例)

2) 3年生存率集計報告書

平成30年3月に閣議決定された第3期がん対策推進基本計画では、「国は、国民が必要な時に、自分に合った正しい情報を入手し、適切に治療や生活等に関する選択ができるよう、科学的根拠に基づく情報を迅速に提供するための体制を整備する」としていることから、2013年診断例に引き続き、2014年・2015年診断例について、5年生存率より早い段階の3年生存率集計を行いました。がん診療連携拠点病院等全体でのみ集計しています。

年	全文	修正履歴
2015年	全文 (PDE:1.129KB)	-
2014年	全文 (PDE:1.061KB)	-
2013年	全文 (PDE:1.211KB)	-
2012年	全文 (PDE:2.139KB)	修正履歴 (PDE:144KB)
2011年	全文 (PDE:1.312KB)	-

3) 10年生存率集計報告書

院内がん登録としては、初めてとなる10年生存率集計を行いました。2007年・2008年診断例は、院内がん登録を開始して間もない時期であり、登録精度には課題が残ります。また現在のがん治療の状況は10年前から変化していますので値の解釈にはご注意ください。10年生存率集計報告書は、全体でのみ集計しています。

年	全文	修正履歴
2008年	全文 (PDE:1.300KB)	-
2007年	全文 (PDE:1.008KB)	-

2. がん診療連携拠点病院等院内がん登録生存率集計報告書

1) 5年生存率集計報告書

5年生存率報告書では、がん診療連携拠点病院等全体での病期、観血的治療の実施別に生存率を推定するだけでなく、都道府県、施設別の生存率集計においても、がんの病期別に生存率を推定しています。しかしながら、がん患者さんの生存率には、院内がん登録情報としてデータ収集しているがんの病期、年齢、性別だけでなく、対象者の併存疾患の有無や身体機能の状態にも大きく影響を受けることが分かっています。特に施設間では高齢者の多い施設、少ない施設、他の病気をもつ患者の多い施設、少ない施設があるため、単純に生存率を比較して、その施設の治療の善し悪しを論ずることはできませんので、ご注意いただきつつ、数字を見ていただくよう、お願いします。このように生存率集計結果の解釈について依然課題がありますが、本報告書公表をご覧いただき、がん診療連携拠点病院等が丸となり、がん患者さんの治療に責任と誠意をもって取り組んでいることをご理解いただけますと幸いです。

年	生存率報告書全文	生存率報告書本文	生存状況把握割合(付表1)	都道府県別結果(付表2)	施設別結果(付表3)	修正履歴
2012-2013年	全文 (PDE:5.585KB)	本文 (PDE:816KB)	付表1 (PDE:167KB)	付表2 (PDE:948KB)	付表3 (PDE:3,896KB)	修正履歴 (PDE:194KB)
2012年	全文 (PDE:1,953KB)	本文 (PDE:759KB)	付表1 (PDE:227KB)	付表2 (PDE:1,005KB)	-	-
2010-2011年	全文 (PDE:16,477KB)	本文 (PDE:1,258KB)	付表1 (PDE:286KB)	付表2 (PDE:2,415KB)	付表3 (PDE:11,422KB)	-
2009-2010年	全文 (PDE:13,503KB)	本文 (PDE:2,189KB)	付表1 (PDE:351KB)	付表2 (PDE:1,982KB)	付表3 (PDE:9,305KB)	修正履歴 (PDE:144KB)
2008-2009年	全文 (PDE:12,127KB)	本文 (PDE:1,367KB)	付表1 (PDE:295KB)	付表2 (PDE:2,147KB)	付表3 (PDE:9,046KB)	-
2008年	全文 (PDE:8,747KB)	本文 (PDE:1,428KB)	付表1 (PDE:500KB)	付表2 (PDE:2,664KB)	付表3 (PDE:4,949KB)	-
2007年	全文 (PDE:3,865KB)	-	-	-	-	修正履歴 (PDE:210KB)

新潟県内拠点病院における新型コロナウイルスの影響について

新潟県がん登録部会 実務者

文責：長岡中央総合病院 矢引

日本対がん協会からの新型コロナウイルスの影響によるがん診療への影響アンケート（別紙）を受け、県内拠点病院において、どのような影響を受けたのかを調査した。

半数以上の施設に見られたのが、1回目の緊急事態宣言が発令された2020年4月、5月の診断数減少である。特に、新型コロナウイルス陽性患者受入施設となっている新潟市民病院においては、新潟県内、新潟市内の感染状況と相まって、がん診断数の変動が他施設よりも大きいものとなった。

医療圏別に見ると、下越地区はさほど大きな変動は見られなかったものの、肺がんにおいて症例区分20に変化が見られた。

新潟地区は前述の新潟市民で感染の影響が見られたのに比べ、拠点病院群の中で、唯一新型コロナウイルス陽性患者の受入施設でない県立がんセンターは、全体の前年比で診断数の減少があったものの、ウイルスの影響があまり大きなものと感じられなかった。新潟大学の2020年胃がん症例数が他の施設とは逆に増加していることもあり、新潟市民の症例区分とがんセンターの症例区分、更に新潟大学の症例区分には相関関係が見られるかもしれないので、関係者が興味をもったら、是非とも調査・研究をお願いしたい。特に新潟大学においては、症例区分に例年になく変動があったのかが興味深いところと言える。済生会新潟においては、局在によって症例数に変動の大きなものがあり、来院経路や症例区分で例年とは違う変化が見られた結果と言える。

中越地区においては、長岡赤十字、長岡中央ともに診断数の動きは似ているものの、変動幅の大きかったのは長岡中央であった。双方の施設に共通するのは、担当医師の異動による症例数の変動が大きく、新型コロナウイルスの影響だけではない部分もあることに留意して、推移を見守る必要がある。立川総合は検診での上部消化管内視鏡中止の影響が色濃く出ており、柏崎総合では新型コロナウイルス感染者の減少とともに、症例数の増加が見られた結果となった。

上越地区は、県立中央においては診断数の変動は大きく感じられなかったものの、発見経緯における区分1の割合が減少したこと、例年と遅れた症例数のピークなど、検診の受診控え等が大きく影響しているものと推測される。上越総合は職員の新型コロナウイルス陽性者の影響と思われる外来停止や入院延期が、大きく作用した結果であったと言える。

魚沼地区では中越地区同様に2020年5月の診断数、内視鏡数ともに大きく減少した。

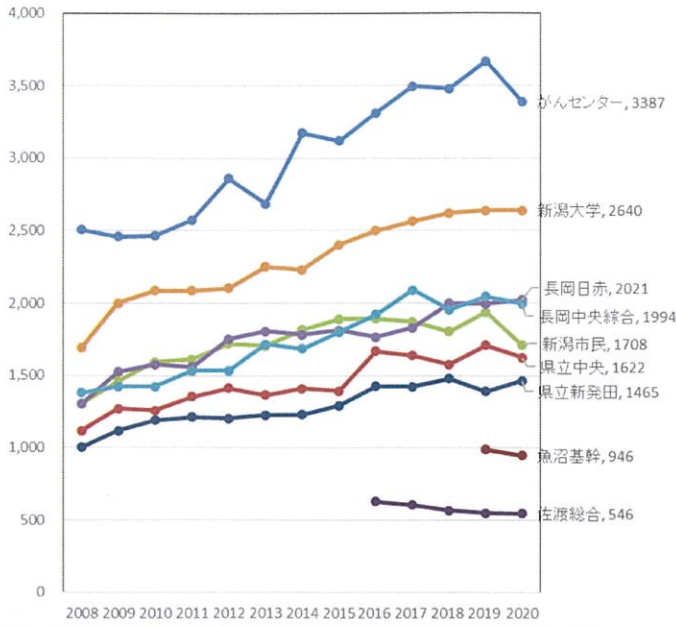
佐渡地区においては、島内唯一の総合病院ということもあり、症例区分 20 の増加が期待されたところではあったが、大きな変化は見られなかった。

県央地区においては、データを収集できる施設がなく、今回の調査対象外とした。

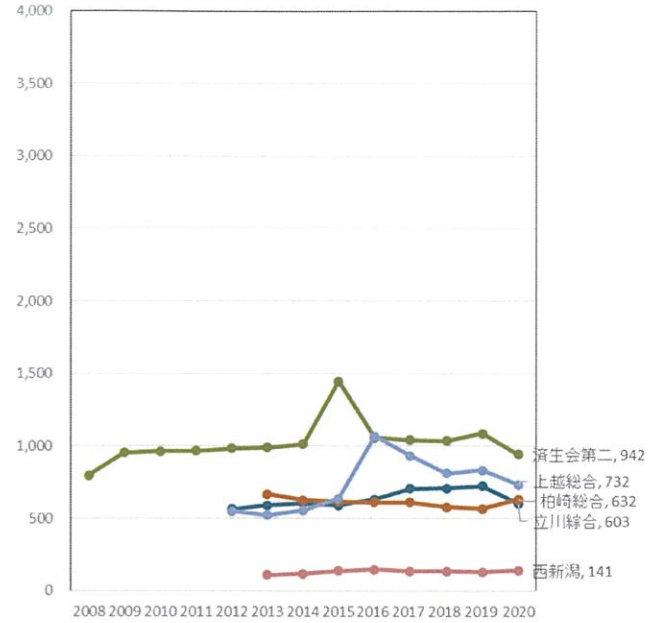
以上より、施設ごとで新型コロナウイルスの影響は少なからずあったものの、新潟県内のがん医療提供体制においては、患者に不利益が生じるほどの変化はなかったと推測される。例年 5 月は、大型連休のために施設稼働日も少なく、外来患者数や検査数が減少するのは当然のことであったが、2019 年以前はがんの診断数に大きな影響は見られなかった。しかし、2020 年に関しては、連休という要因だけでなく、新型コロナウイルスの影響により、診断数、検査数ともに大きく減少する施設が出るなど、その影響が色濃く表れた結果となった。今後の感染状況次第では、手術の抑制や医薬品の供給不足による薬物療法への影響等も考えられる。感染対策に重きを置くのか、がん診療を優先させるのか、医療圏毎に機能分担された施設再編もあり得るかもしれないことを念頭におくべきと考える。

新潟県がん診療連携拠点病院 院内がん登録

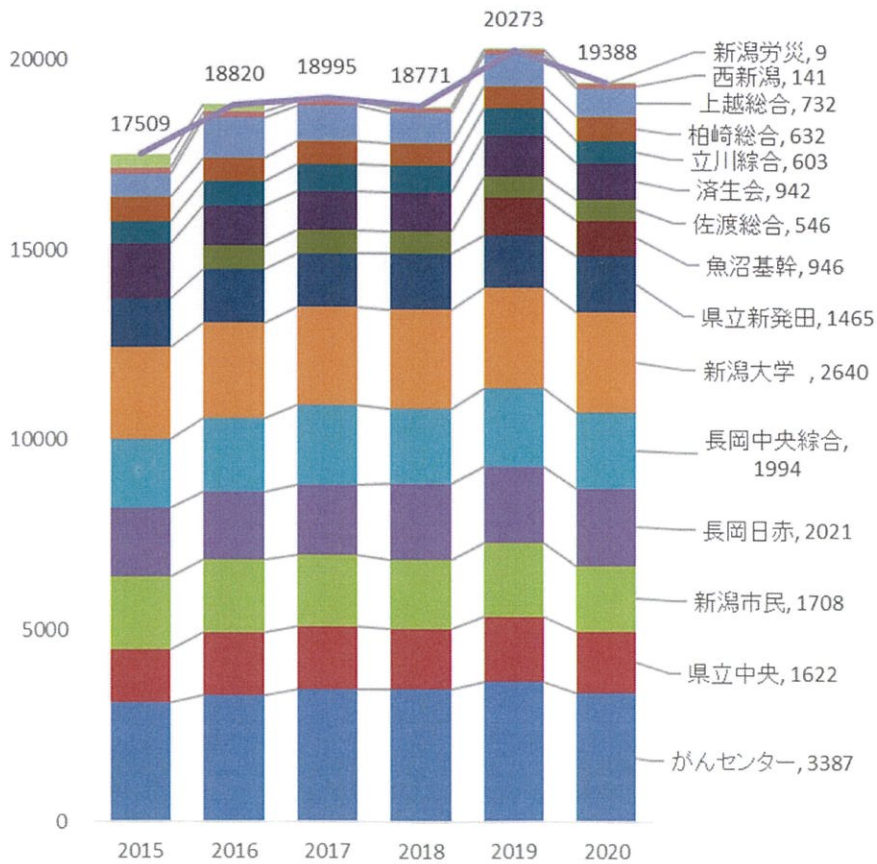
総数(拠点病院)



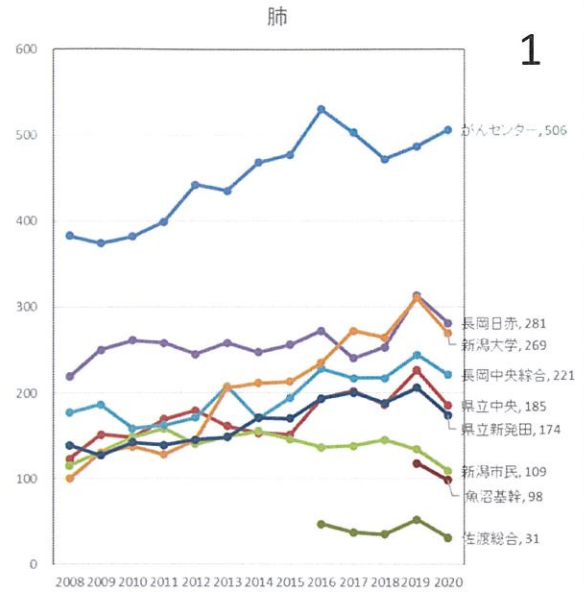
総数(準拠点病院)



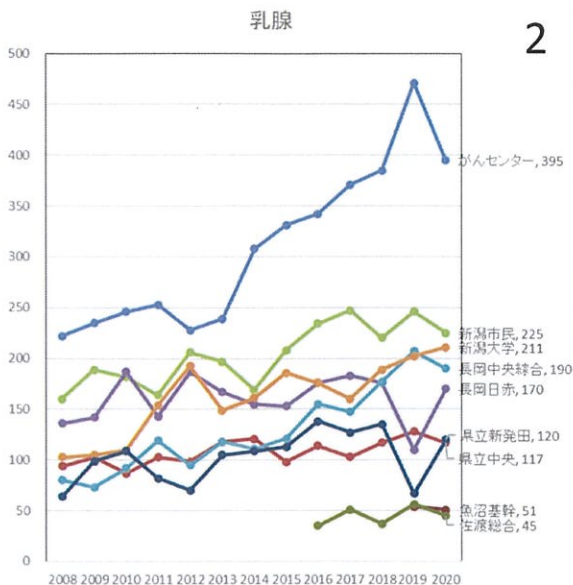
がん登録総数(拠点+準拠点+新潟労災)



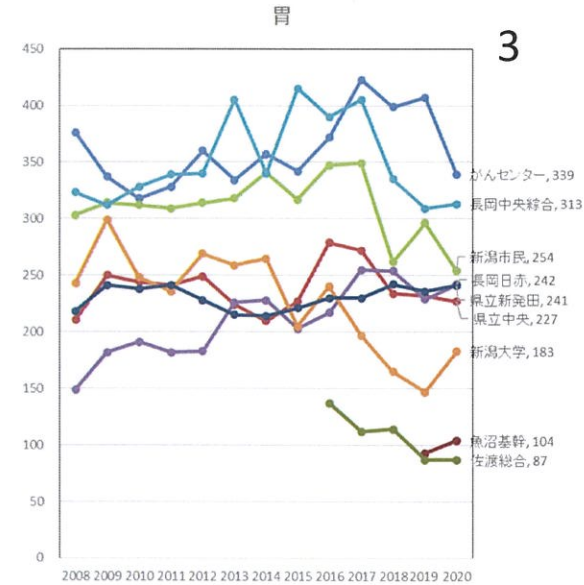
当院上位10がん種



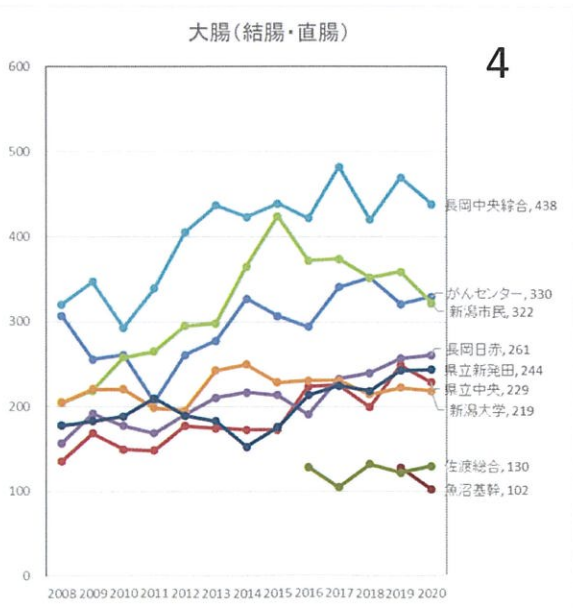
1



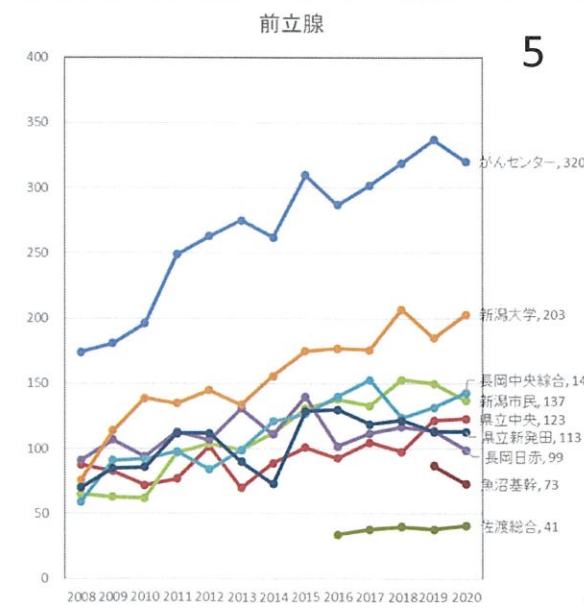
2



3

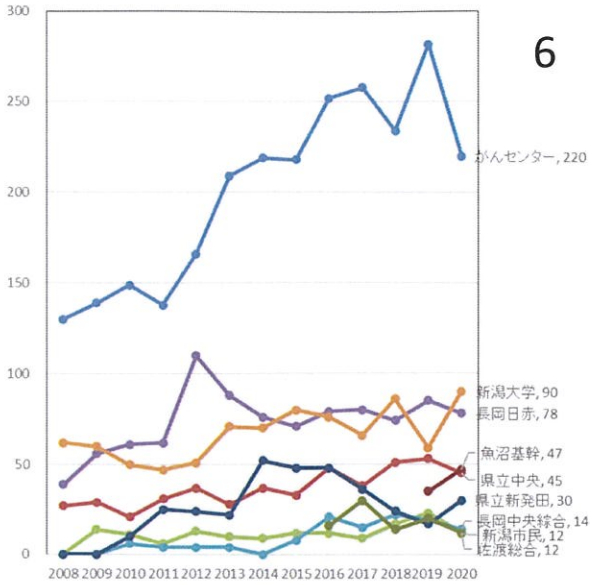


4

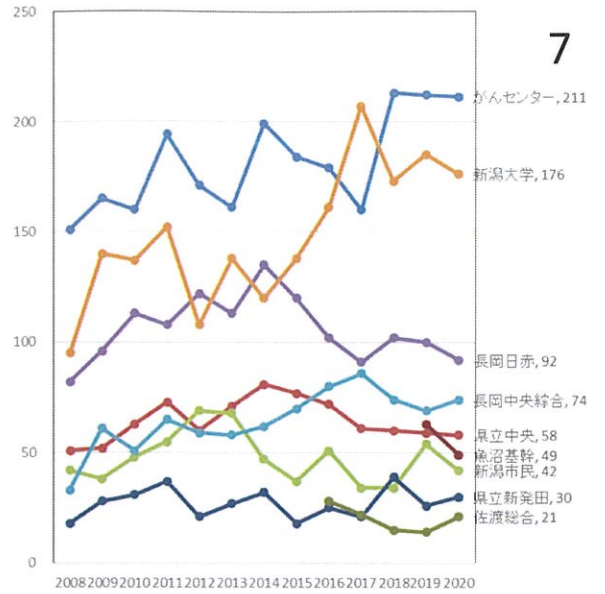


5

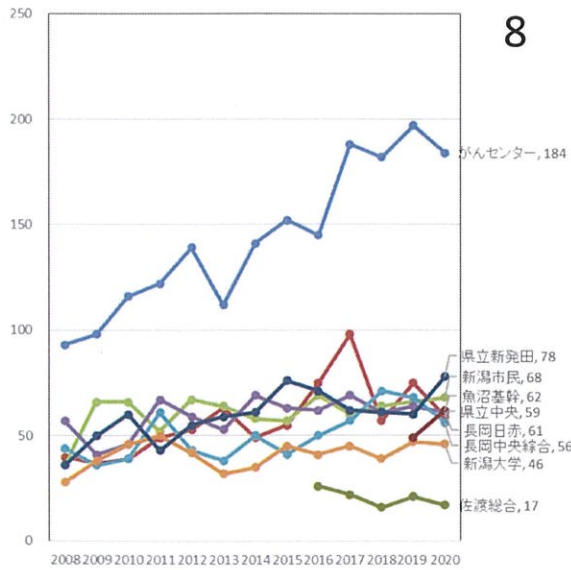
皮膚



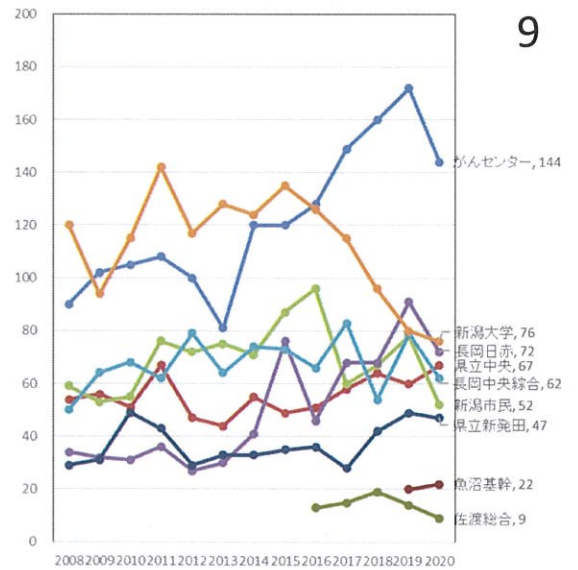
子宮(頸部、体部)



膀胱



食道



腎・その他泌尿器

